

令和３年度第１回「京都市生活安全施策審議会」（書面開催）における委員からの御意見

番号	意見（概要）	意見に対する本市の考え方
1	【計画全体について】 ○ パブコメから寄せられた意見のフィードバックがきちんとできている。パンフレットがわかりやすくなった。 【安心安全の予算について】 ○ 「財政難の折、費用対効果を精査して事業を実施しますが、『安心・安全』は損得抜きで考えられるべき場合もあります。人の生命・財産を守るために全力を尽くします。」といった文言を入れておけば、財政事情が厳しい中、市民の理解が得られるかもしれない。また、議会に対しても、財政難のため断念した事業の一覧も用意して説明すれば理解いただけると思う。	○ 市民の安心安全を守るため、しっかりと予算の確保に努めるとともに、厳しい財政状況の中でも地域等の「防犯の灯」を絶やすことのないよう、工夫しながら安心安全にかかるあらゆる取組を実行していく旨を計画に追記いたします。
2	【進化・多様化する情報通信社会への対応について】 ○ 柱３の進化・多様化する情報通信社会への対応に対して、結構な数の意見が寄せられている印象。 ○ ≪推進施策≫の中に「ケータイ教室」とあるが、現状では「ケータイ」というより「スマホ」という呼び方が主流になりつつあり、大手携帯電話会社の同様の施策には「スマホ・ケータイ教室」「情報モラル講座」のような名前が付いている。以上を踏まえ、ここは、「スマホ・ケータイ教室」という書き方がよいのではないか。また、可能であれば「情報モラルの啓発」という視点で文言を追記し、単なる使い方講座ではなく、安全を意識した講座であるということが市民に伝わるようにしてはどうか。	○ 現状に合わせて表記を「ケータイ」から「スマホ」へ変更するとともに、情報モラルの啓発等のための取組であることが分かるよう、取組名を「子どものスマホ・ゲーム機等の利用に関わる情報モラル教育及び保護者啓発」に変更いたします。
3	【地域防犯活動について】 ○ “パトロール中”の旗をよく見るが、どの地域に行っても同じ旗では、出ているというだけになり効果が薄くなると思う。オリジナルの地域ごとの掲示物等、地域名や独自性がある方がより効果的。 ○ 市民が自分ごととして活動に参加していただくことが本当に大切なことだと思う。	○ 地域による「自分たちのまちは自分たちで守る」意識の醸成を図り、地域の実情に応じた多種多様な取組をより一層推進してまいります。

4	【コロナによる安心安全への影響について】 ○ 基本計画の方向性は概ね良いのではないと思うが、昨年からの新型コロナウイルス感染症による影響で社会環境が大きく変化しており、基本計画の内容が現在の状況では合わない部分があると感じた。基本計画の中に、コロナに対する社会的影響やニーズに対しての反映が少ないのではないと思う。 ○ コロナワクチン詐欺の発生、失業や貧困層の増加、住人同士のコミュニケーションやイベントなど「繋がり」の維持が困難な状況になるなど、くらし安全に影響するような情報も目立つようになっている。住人同士の繋がり、社会との繋がりを継続していくため、オンラインを使ったコミュニケーションやイベントなどを施策に反映させる必要があるのではないと思う。 ○ また、コロナ関連に対する積極的な施策を提示していくことで、市民のニーズを積極的に取り込み、市政やくらし安全への関心が高まるのではないと思う。その為には、パブリックコメントの意見は非常に重要であり、このような客観的な意見は、今後の審議会の方向性を踏まえ非常に良かったのではないと思う。今後とも定期的にアンケートを行ったり、スマホ等で気軽に市民がコメントできるような環境を整備していただきたい。	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮された方が万引きなどの犯罪を行ってしまうこと、また、ワクチン詐欺や給付金詐欺などの犯罪被害者となってしまうことが懸念されるところであり、犯罪を起こさせない環境整備や被害に遭わないための注意喚起はもとより、社会的・経済的不安を抱えている方へのケアを行うことで犯罪企図者を生み出さないことが重要と考えています。 ○ 京都市では、新型コロナウイルス感染症への不安を取り除くための精神的サポートや経済支援を実施するとともに、多数の支援制度をまとめた一覧をホームページへ掲載する取組などを行っており、必要としている方へ確実に支援の手を差し伸べることができるよう、引き続き情報発信等に努めてまいります。
5	【青色防犯パトロール活動について】 ○ コロナ禍の中でも、出動回数を減らしたり、消毒に徹底的に気をつけながらパトロールを続けたことで、管内の犯罪抑止に努める事ができた。やはり見える活動が大事だとこの一年つくづく感じた。 ○ どんなに社会が変わろうが、今までと変わらぬ防犯活動を行う事が大事だと痛感した。これからも「見せる防犯」を実施して犯罪者が思いとどまれるようにパトロールを続けていきたい。	○ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、あらゆる社会情勢の変化の中でも地域安心安全活動が途絶えることのないよう、取組事例や活動の注意点などを積極的に発信してまいります。